

## 第7回 まちづくり地域懇談会を開催します！

第7回 まちづくり地域懇談会では、“地区まちづくり構想（案）”のお披露目をするとともに、「この構想（案）を具体的に、どのように実行していくか」について議論します。

開催日時：令和2年**3月8日（日）10時**から

### プログラム

- 地区まちづくり構想（案）お披露目
  - ・中間報告として、2年間の議論を取りまとめた“地区まちづくり構想（案）”をご紹介します。
- 意見交換
  - ・構想（案）の実現に向けて、取組の主体や手順など、今後の進め方を話し合います。

### 会場

#### 小川西町中宿地域センター

第一・第二集会室  
(小川西町 2-30-1)  
(都営住宅 1階)



次回で今年度は最終回です！  
みなさん是非、ご参加ください！



## おがワンフェスティバルで、防災シミュレーションゲーム「クロスロード」を行いました！（第5回 まちづくり地域懇談会）

令和元年 11月24日（日）に、小川ホームで開催された「おがワンフェスティバル」にて、小川西町三丁目周辺地区まちづくり地域懇談会のブースを出展し、防災シミュレーションゲーム「クロスロード」と、これまでの取組を紹介する「パネル展示」を行いました。

### クロスロードとは？

以下の手順で進めるカードゲームです。

- ① 参加者は、災害時に「求められる判断」を想定した質問に対し、“YES”または“NO”のカードで回答します。
- ② “YES”または“NO”、多数派の回答者は、1ポイント獲得します。
- ③ 回答について、参加者間で意見交換をします。
- ④ ①～③をくり返し、最終的なポイント数で勝敗を決めます。



< 例題 >

あなたは、  
「海辺の集落の住民」

地震による津波が最短10分で来るとされる集落に住んでいる。今、地震発生。早速避難を始めるが、近所のひとり暮らしのおばあさんが気になる。まず、おばあさんを見に行く？

YES：見に行く  
NO：行かない

あなたは、  
「一般企業の課長」

会社にて地震発生。交通は完全にマヒ。家族と連絡が取れず、安否が気になるが、上司として部下の安全の確保を優先すべき責任もある。自分の仕事を優先するか、帰宅して家族の安否を確認するか？

YES：仕事  
NO：帰宅

当日は、こんな質問が出されました！あなたなら、どうする！？



## 【第6回】まちづくり地域懇談会を開催しました！

令和元年12月15日(日)、第6回まちづくり地域懇談会を開催しました。今年度の完成を目標とする“地区まちづくり構想(案)”について、事務局よりお示した「たたき案」をもとに、議論しました。

### ◆ まちの目標(案) “安全・安心の暮らしやすいまち”(案)

| 地区まちづくり構想(たたき案) 抜粋 | 【地区の状況と問題】   | 【取組の視点】  | 【ルールをつくる取組】  | 【左記以外の取組】  |
|--------------------|--|--|--|--|
|                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した建物が集中しているところがある</li> <li>空き家が散見される</li> <li>狭い道路がある</li> <li>道路をふさいでいるモノがある</li> <li>ブロック塀が散見される</li> <li>避難場所、避難路が分かりにくい</li> <li>単身の高齢者が増えてきている</li> <li>地区のつながりが希薄になっている</li> </ul> | <p>〈視点1〉<br/>燃えにくく、倒れにくい建物にすることが必要</p> <p>〈視点2〉<br/>安全に避難や消火・救助活動ができる環境づくりが必要</p> <p>〈視点3〉<br/>災害時に助け合える関係づくりが必要</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ ○耐震性や耐火性のある建物に建替えしやすいルールをつくる</li> <li>⇒ ○地域で空き家の手入れくらいはできるようなルールをつくる</li> <li>⇒ ○建替えしやすいルールをつくる<br/>○角地では隅切りを設けるルールをつくる</li> <li>⇒ ○道路にモノを置かない地域のルールをつくる</li> <li>⇒ ○道路側に垣や柵を設置する場合は、生垣や透過性の高いフェンス等にすることを促進するルールをつくる</li> <li>⇒ ○災害時に独居老人に声をかけるルールをつくる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民で災害時の危険箇所を点検しマップをつくる</li> <li>○地域住民で災害時の危険箇所を点検しマップをつくる<br/>○自治会や市を通じて所有者に適切な管理をお願いする。</li> <li>○地域住民で災害時の危険箇所を点検しマップをつくる</li> <li>○自ら道路にモノを置かないよう努める<br/>○地域住民によりルールが守られているかどうかを確認するパトロールをする</li> <li>○ブロック塀の撤去を行う</li> <li>○みんなで災害時の避難ルートを考える<br/>○安心できる避難場所を考える<br/>○防災訓練などを通じて災害時に備える</li> <li>○民生委員の人達と協力して高齢者の見守りを行う<br/>○災害時の助け合いの仕組みを考える</li> <li>○あいさつ運動に取り組む<br/>○空き家や銭湯を使わせてもらって交流の場・集いの場づくりに取り組む<br/>○地区内の施設との連携について考える</li> </ul> |

### 議論の内容(主な意見)(一部抜粋)

#### <構想全体について>

- ・全体像については、概ね良いと思う
- ・地区まちづくり構想(案)のタイトルやキャッチフレーズは、地域の方々にもっと危機感を感じてもらえるようなものが良い(例えば、「燃えない、倒れない、まちづくり」など)
- ・地区まちづくり構想(案)をわかりやすく、まとめたい

#### <構想の実現に向けて考えるべきこと>

##### ■取組全体について

- ・構想(案)を実現していくために、「誰がなにをするのか」を整理する
- ・防災やまちづくりを「自分ごと」として考えてもらわないといけな

##### ■建築物や建替えに関するルールについて

- ・本地区に適した建築物や建替えのルールを研究する
- ・防災性の向上だけでなく、地域の魅力を高めるルールも含めるべき

##### ■災害時の円滑な避難について

- ・避難経路を把握するため、事前にまちあるきをする
- ・避難訓練などを定期的実施し、日頃から災害に備える

#### <まず取り組むこと>

- ・定期的に懇談会を開催し、検討の場を設ける
- ・既存の交流イベント等にて、構想(案)を周知する
- ・防災訓練など、できそうなことから始めていく
- ・危険箇所マップを作成し、各戸配布を行う
- ・要支援者情報の管理・活用方法を確認、検討する
- ・職業大学の学生と協力して地区の模型を作り、危険性などをビジュアル化して共有する

